



NETSU
LINK TO THE FUTURE

2016.7 No. 330

Handsome

Handsome CONTENTS

July 2016

巻頭記事

6月例会開催

6月例会を終えて
広報委員会 委員長 権田 和志

中央会応援団
新応援団長紹介

ダイエット企画完結

特集

第36回全日本トライアスロン
皆生大会 選手紹介

研修旅行レポート

権ちゃんの調べてみました
広報委員会 委員長 権田 和志

連載
会員当てクイズ この人はだれだ!?

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 権田 和志 印刷所/東京印刷(株)

6月例会開催

平成28年6月15日(水)米子コンベンションセンター小ホールに於いて第41期の活動を締め括る6月例会が開催された。担当は広報委員会。



冒頭、松田会長より「第41期は『熱』をテーマに様々な活動してきたが、個々に一年間の振り返りをしたい。自分の為・企業の為・学べたこと、人との繋がり、会員同士の友情を育むことができたか? また個人的には会員の皆様に『熱』を伝える事が出来ただろうか? 諸先輩方含め多くの方々への1年間の協力に対しての感謝をしたい。」と述べられた。

続いて第41期「委員会報告」に移り、「総務委員会」奥森委員長(活動テーマ:糸)、「地域活性委員会」足立委員長(活動テーマ:プロフェッショナル)、「中央会発掘委員会」内田委員長(活動テーマ:掘削!!)、「政治行政委員会」浜田委員長(活動テーマ:礎~未来へ繋ぐ礎を築く~)、「広報委員会」権田委員長(活動テーマ:地域に発信! 魅力の再発見)、「ビジネス経営委員会」松井委員長(活動テーマ:ビジネスアスリートになる)の順に各副委員長や委員



会メンバーからの熱いエールに送り出され、一年間の活動成果の報告、苦労や悩み、メンバーとの強い繋がり、思い出話など、涙あり、笑いありとそれぞれの委員長の個性、委員会への思いが伝わってくる一年間の集大成となる熱のこもった発表が行われた。

続いて第42期「年度方針発表」においては竹ノ内次年度会長よりスローガン「翔人(しょうと)」、テーマ「勇気ある決断」が発表された。「仲間となった会員同士が一緒になって議論、活動を大に行い、大きな羽を広げて大空を駆け巡る事が出来る人間となれるように一年間の活動を行っていききたい。」との意



味が込められている」と述べられ、「これから次の道に突き進むが、決して屈しない不撓不屈の精神で邁進していきたい」と非常に力強い方針発表が行われた。

次に、今後1年間の活動を行っていく「総務委員会・高塚委員長」、「積善委員会・高井委員長」、「政治ビジネス委員会・田中委員長」、「匠委員会・村田委員長」、「広報委員会・石原委員長」、「翔女委員会・吉田委員長」の6つの委員会が発表され、それぞれの委員会の活動内容の説明、目的、それぞれの委員会に対する思いが述べられた。

最後に次年度役員の皆様が壇上にて竹ノ内次年度会長より紹介され、代表数名による挨拶が行われた。

一年間の締め括りとなる第41期6月例会は熱気冷めやまぬ中、閉会した。

(記事:浜浦)





41期を厳正に締めくくり、42期と共に前進する例会を目指し、メリハリのある進行を意識しました。委員会メンバーがそれぞれの役割をしっかりと果たして頂いた結果、スムーズな例会開催となりました。メンバー全員に感謝しております。41期委員会報告では、各委員長が選んだ曲を入場曲として使用した結果、個性の出た演出となり各委員長の魅力が高まったと思います。ステージ前まで委員長をスポットライトで照らすことにより、発表の場に向かう1歩1歩が1年間の活動の歩みと重なり、感慨深かったと思います。

報告では各委員長が熱を込めて1年間の活動報告・想いを発表して頂き、感謝しております。続いての42期方針発表では、竹ノ内次年度会長の想いを込めた活動方針を拝聴し、また壇上に並んだ新役員の見事な表情を拝見して、次年度活動に対する期待感が高まったのではないのでしょうか。次年度に向けて、一致団結できた例会となりました。ご協力頂いた会員の皆様ありがとうございました。

第36回 全日本トライアスロン皆生大会選手紹介

今回で、5回目の出場になります。初めてのリレー参加です。スイム担当と言う事で、バトンをバイクのMARK6くんにしっかりと繋げ、最後はラン担当の土岐先輩に任せて3人笑顔でゴールしたいと思います。



拝藤博幸

オール中央会で最後まで頑張ります！また、真夏の猛暑の中、ボランティア活動しながら沢山の応援をいつもして下さい、感謝しています。今回も頑張りますので、みなさんの声援宜しくお願いします。私には、初出場からの夢がある。ゴールした後、6時半から始まるサザエさんを見ることである！普段普通に見えるが、完走後に見るのは最高らしい！

バイクとランに最強の選手が居ますので、明るい内にゴールして目標を叶えたい。

今年も暑い夏がやってきました。最初は「名前だけ貸して」と言われて加入したチームも3年目。前回までは正直な所「出番はないだろう」とやんばい気持ちでしたが、今回は出場するつもりで練習に励みました。しかしメインのG先輩と一緒に走りに行ったところ、ペースに全く付いて行けず…。まだまだ練習が足りません。時に厳しく、時におんぼろと鍛えて頂きました。課題である登り坂ではお尻の筋肉を使うとまいしこ行くそうです。

毎年この時期はトライアスロンにのぼせたくって家族からは「なんしとーてー」と言われます。たいしてしえたもんだと思われようと今年も頑張りますので、皆様よろしくお願いたします。



高田典宗

今回は現役生活最後の全日本トライアスロン皆生大会となります。

思い起こせば40歳の時、リレーの部に誘われバイクパートで初出場。それから次の年ランパート、続く年スイムパートと経験し、昨年満を辞して、個人の部に出場、何とか完走しました。

トライアスロンは僕の憧れのスポーツでした。その憧れのスポーツにこうやって出場できている事、ボランティアとして関わっている事自体にこの上ない喜びを感じています。

人生は一度きり。やりたいこと全部やります。

「いつか」なんて時間はどこ探してもありません。

あるのは「今」だけ。

現役の皆さんも是非トライアスロンに挑戦してみてください。



白石博昭



アイアンマン MARK6!?

『また皆生に出たいのだけど…いける？』と土岐OBの一言で結成された”TSCチーム土岐”の一員として参戦させていただきます”謎の筋肉サイボーグ”ことアイアンマンMARK6です。

目標は、日没までのゴール。今期ご卒会を迎えられる拝藤先輩と土岐OBと補欠無しの三人チームという事で、リタイアは絶対許されません。残された時間の中で、何としても明るいうちに土岐OBをゴールでお迎えできるように、しっかりと準備をしたいと思います。

大会当日バイクコースで筋肉サイボーグを見かけた際は、物など投げつけることなく、温かいご声援をよろしくお願いたします。

中央会応援団新応援団長紹介

森下知紀会員



オス。新応援団長の森下です。今川団長から熱い思いとともに引き継いだ応援団魂をトライアスロン出場選手、OBの皆様、現役会員のみんなに感じていただけるよう応援していきたいと思えます。またさらに42期西部青年中央会に勢いが着く様、新メンバーとともに元気が飛び跳ねるような応援をしていきますので、皆様宜しくお願い致します。

研修旅行レポート

総務委員会



第41期総務委員会は、平成28年5月28日、29日に大分県別府温泉に研修旅行に行ってきました。総務委員会13名は道中、小倉にて鰻を満喫。鍾乳洞での探検を経て、米子から別府まで約10時間のバス移動でしたが、有意義な時間を過ごしました。

別府では、宿泊先の旅館にて、温泉と山、海の幸を堪能しました。卒会される荒川会員、伊坂会員にも喜んでいただくことができました。今期総務委員会は、人との繋がりを1番に活動して参りましたが、1年間の活動を通して結束することができた委員会メンバーで、今期の終わりに楽しく、有意義な旅行に行くことができ、本当に良かったです。

(住 真介)

広報委員会



5月28・29日に広報委員会で視察研修に行ってきました。初日は神戸市へ足を運び、中華街・南京町の活気を肌で感じ、「カワサキワールド」では造船業から始まった日本企業の歴史を学びました。

2日目はまず姫路城へ向かいました。平成の大修理が完了した後ということで、朝早くから国内外の観光客で溢れ、大天守に上がるには人数規制が設けられる程でした。その後、そうめんの里として知られる「揖保乃糸」で昼食を食べ、最後は「うすくち龍野醤油資料館」に寄り視察研修を終えました。

今期卒会される松尾会員と委員会メンバーが多く時間を共有し、また権田委員長の1年間の苦勞を感じ取ることもでき、本当に記憶に残る2日間となりました。

(山内正樹)

政治行政委員会



第41期政治行政委員会の卒会研修旅行は6月4・5日の2日間で開催されました。卒会者の意向により研修先は広島に決まりました。旅行当日広島ではとうかさん祭りが開催されておりました。米子にもいな祭りがああります。広島ならではの祭りを体感し広島という地域の風土を体感して参りました。

そして2日目は世界遺産のある宮島の厳島神社に行ってきました。まさしくパワースポット凄まじいパワーを頂いた気がしました。そこで昼食は広島名物あなご飯をいただきました。美味しかったですね、卒会者お2人も一生忘れられない味と絶賛して頂きました。

政治行政委員会はこの1年間地方創生を主に学んできました。今回の研修旅行でも広島地域の地域創りということも頭に入れ研修し、非常に盛り上がった楽しい研修旅行でした。

(福本隆史)

中央会発掘委員会



マイクロバスを借り、内田委員長・上村会員の運転で中央会発掘委員会メンバー10人と共に門司・博多に研修旅行に行ってきました。車内では卒会者の渡辺監事の委員長時代の映像を流したり、昔話で盛り上がり、楽しく勉強となる道中となりました。

博多ではヤフオクドームにて野球を観戦し、ホークス球団がいかに市民に愛され、博多の街を熱くしているのを感じることができました。(わが街にもいつかそんなプロ球団ができるといいですね)

そして門司では当初の予定を大幅に変更して、厳島島に上陸しました。勝負事の願掛けに良いとされる舟島神社を参拝し、当委員会が第41期の最優秀委員会に選ばれよう願をかけておきましたが、果たしてそのご利益はいかに・・・

(田中 猛)

ビジネス経営委員会



6月11日・12日(土・日)に広島方面に研修・視察そして親睦旅行して参りました。

道中に呉市にある大和ミュージアムや旧海軍学校などで歴史を学び、2日目には宮島に行きました。最近のブームであるインバウンド(外国人旅行者)も多く、すごい観光PRの仕方がうまいと感じました。そして何より、今期で卒会される西村会員・三嶋会員も参加して頂き、最後の思い出になればという思いで企画しました。旅行後のお言葉でお二方も楽しんで頂いたと聞きましたのでよかったです。

このメンバーでもう会って旅行もすることは無いですが、1年間ともに学び・成長してきた仲間とともに研修し旅行も出来たことはとてもいい時間でした。有難う御座います。

(緒方恒人)

地域活性委員会



地域活性委員会は、6月11、12日に神戸へ研修旅行に行ってきました。米子とは街の大きさはまるで違いますが、商店街の活気など多くの刺激を受けました。神戸に着いて最初の昼食は神戸牛のステーキ。目の前の鉄板で焼かれた神戸牛に会員一同、満面の笑みでした。その後、生田神社に参拝し、夜は神戸の街

が一望できるダイニングバーで懇親会。茅野会員と古谷会員が卒会ということでプレゼントが贈られ、茅野会員の目には涙が…。2日目も神戸の街を満喫し、老舗のとけいやで昼食。冷しゃぶ御膳を頂いてからのすき焼き。贅沢な昼食となりました。2日間とも、神戸の街を散策でしたが、卒会者お二人も楽しんでおられ、有意義な研修旅行となりました。

(松田順次)



ダイエット企画完結



41期から始まったダイエット企画の結果発表が6/23(木)に発表されました。最終選考まで残ったメンバーは石田副委員長、森下会員、橋本会員の3名でした。栄えある優勝者は...

96kgから86kgへ10kgの減量をした石田副委員長に決定しました!!!

石田副委員長の最終目標は70kg台だそうです。優勝のご褒美と新たな目標達成を祈念して「びっくり大盛ラーメン(麺2玉)・チャーハン・餃子」をプレゼントしてダイエット企画は完結しました。各人のダイエット方法を紹介します。体重を気にされている人は参考にされてみてはいかがでしょうか?(参考にならない人もいますが...)

...

【優勝(96kg→86kg 結果-10kg):石田副委員長】

ダイエット法は、主食(パン・ご飯・麺類)を抜き、タンパク質(肉・魚)を増やしました。飲んだ後の締めラーメンを回避するのが苦しかったです。何事も習慣化が大切です。今後は糖質制限を緩くして筋肉を付けたいです。目標は70kg台。

【第2位(93kg→89kg 結果-4kg):橋本会員】

企画当初から体重は順調に増え7月上旬には96kgになりました。7/4からラストスパートをかけ、一気に7kgの減量に成功しました。ダイエット法は「スーパー糖制限ダイエット」です。スイーツ大好きでしたが誘惑にも負けず頑張りました。今後は少しずつ減量したいです。

【第3位(96kg→101kg 結果+5kg):森下会員】

自炊で1年間挑戦しましたが、体重96kgから101kgに見事、成長致しました。

どうも成長した原因は、料理の腕が良かったのか、ただ栄養が偏っただけかはわかりませんが、このダイエット法は私には合わないことがわかりました。

権ちゃんの調べてみました!! ~最終回~

日本遺産「地蔵信仰が育んだ

日本最大の大山牛馬市」って何？

平成28年4月25日(月)、日本遺産に「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」が認定を受けました。県内では国宝「投入堂」がある三朝町に続いて2例目で、申請したのは大山・伯耆・江府3町と米子市です。

大山の牛馬市、日本遺産とはなにか？を調べました。

【日本遺産とは】

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するものです。

【大山牛馬市とは】

大山寺の地蔵菩薩には古くから多くの人が参拝して、西日本各地から人が集まりました。牛馬市は、平安時代に牛馬の守護神のいる山だと言われ、全国から牛や馬を引き連れて参拝する人が来たのが始まりです。その後、鎌倉時代以降、次第に牛や馬を売り買いする人が増え、江戸時代になると大山寺の庇護のもと、牛や馬を売買する市ができ、福島の「白河馬市」、広島島の「久井牛市」と並ぶ日本3大牛馬市の1つとして知られました。そして明治中頃には年間1万頭以上の牛と馬が売買される、国内最大の市になるほど栄えました。その後、昭和12年頃まで市は続いたと言われてい

ます。

その当時の牛馬市は牛の売り買いや屋台で賑わい、全国各地からたくさんのお客さんが集まったそうです。大山を目指し、多くの参拝者や牛馬の往来でにぎわった大山道には、石畳道や宿場の町並み、農村の景観がまだ残り、「大山おこわ」などの食文化など独自の文化が息づいています。大山寺には宝牛といわれる像があり、牛をなでると願いが叶うという牛の像があります。

【まとめ】

開山1300年を迎える大山エリアの日本遺産認定は、国内外に大山の「魅力を発信」する大きな武器となります。この「熱」を機に大山周辺の魅力を深く「発掘」し、「地域に発信」する取り組みを行えば、「地方創生」へ繋がるのではないのでしょうか。一過性に終わらせるのではなく、人と人を繋げる「糸」のように伝播させ、「地域活性」へと繋げれば、「ビジネスアスリート」としての「未来へ繋ぐ」地域貢献ができると思います。

(記事:広報委員会 委員長 権田和志)

お誕生おめでとう



権田 結成ちゃん

(権田委員長 第1子)

平成28年4月24日生まれ

お父さんに似て襟足が長いですね(剛毛)。もうそろそろ散髪かな。(生後2週間だけど..)

人と人を結び、たくさんの人から「ありがとう」と感謝される大人に成長してね。



増井 優ちゃん

(蓼本満梨子会員 第1子)

平成28年5月8日生まれ

陣痛促進剤を使って3日間、死闘の末、第一子の男の子を出産しました。人に優しくできる、そして優しさの中に優れた判断のできる人になってほしいという願いを込め決めました。宜しくお願いいたします。



梅原 真織ちゃん

(梅原雅明会員 第1子)

平成28年5月12日生まれ

予定日より1週間早く生まれ、出生時は2,390gと小さかったのですが、1ヶ月が経ち、体重も3,000gを超えて色々な意味で重みを実感しつつあります。

生まれてきてくれて感謝！そして妻にも感謝！の毎日です！

Q&A 会員当てクイズ



この人はだれだ!?



OB会員です。福岡大学4年生の時、少林寺拳法九州大会で優勝経験もあるそうです。

力強い眼差しが、今後のビジネスの成功を予感させています。

答えは下をCheck!!

7月役員会報告

7月新旧役員会が平成28年7月1日(金)ホテルサンルート米子にて開催されました。主な議題は以下の通りです。

- ・6月例会報告の件・総会・卒会式、懇親会開催の件
- ・8月例会開催の件
- ・その他

なお、詳細については各委員長までご参照ください。

総会・卒会式、懇親会開催案内

と き：平成28年7月15日(金) 17:30~21:30

と ころ：ホテルサンルート米子

内 容：総会・卒会式、懇親会

担 当：第41期総務委員会・第42期総務委員会

編集後記

今期のハンサムでは会員、中央会の魅力発信をテーマに取り組んで参りました。

深く知る事ができたでしょうか。改めて思うのですが、広報委員会は会員や会の魅力を知り発信する素晴らしい活動をしていると感じました。この活動は会社にも活かせると思います。最後になりますが、1年間取材にご協力頂きました全会員、OB会員の皆様に感謝申し上げます。

(広報委員会 委員長 権田和志)

【この人はだれだ!?! 答え 土井OB会長】